

和歌山病院での実習を終えて



米村 優仁

私は5月15、16日の2日間にわたり和歌山病院で実習をさせていただきました。いろいろな事情で和歌山病院での実習は2名だけでしたが、南方先生をはじめ暖かく受け入れてくださりありがとうございました。今回の実習では、結核やレントゲンの読影を中心に学ばせていただきました。

和歌山病院には結核病棟があり、初めて結核病棟を見学することができました。結核病棟内での感染予防として、N95マスクや病棟外に結核菌が放出されないように圧が調整されていたり、病棟だけでなく病室内でも調節されていて勉強になりました。

南方先生にはレントゲンの原理から教えていただきました。今まで何となくでしか見えていなかったレントゲンが南方先生の講義のおかげで、レントゲンに対する苦手意識がなくなるとともに、レントゲンを見る上での着目点や正常と異常の違いなど様々なことを学ぶことができました。

南方先生の講義を受けて、日ごろから疑問を持つことの大切さや何事にも原理や根本に立ち返ることの大切さを改めて実感することができました。また南方先生のいい医者になってほしいという熱い思いを聞いて、これからもっと頑張らないといけないと思いました。

短い間でしたが、とても充実した実習をすることができました。協力してくださった先生方や事務の方、本当にお世話になりました。